

風になる OKAKO の名伯楽に聞く

監督

川口 敬二

Kawaguchi Keiji

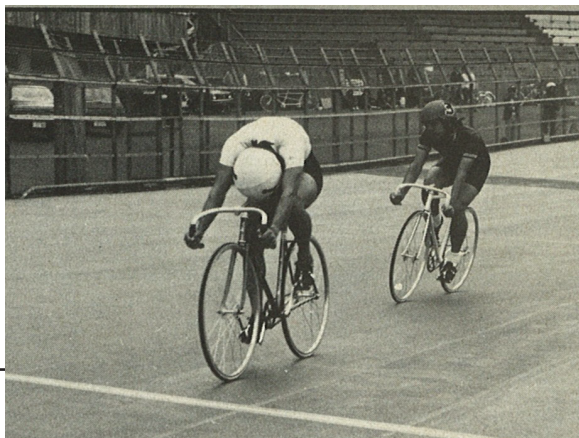
大学で自転車競技をはじめ。関西インカレで最優秀個人賞を受賞、全日本インカレ 1 Km 速度競走で日本記録樹立。大学卒業後 6 年間、民間企業にて機械設計や試作の仕事にたずさわった後、1988 年 (S63) 本校機械科教員として赴任し現在に至る。

Q1 本校の自転車競技部について教えてください。

自転車競技部は昭和 50 年に 5 名の愛好者によって発足され、数多くの青春ドラマを作り上げてきました。特に最近の実績はめざましく、中国大会では 20 年連続総合優勝。インターハイや国体などの全国大会優勝人数は延べ 40 名。入賞人数は 217 名。また国際大会にも延べ 18 名が出場しています。自転車競技には 4 Km チームパーシュートやチームスプリントなどの団体種目があり、チームの結束力を武器に、それらの団体種目で良い結果が出せるように毎日トレーニングに励んでいます。

Q2 高校時代は何部でしたか？

写真部です。芸術写真ではなく、星雲や星団など超望遠の天体写真にのめり込んでいました。これといった専用の機材は売られていなかった時代です。手作りの望遠鏡、手作りの大判カメラで、アイデアと工作技術を駆使してマニアックな撮影にチャレンジしていました。



関西学生対抗選手権スクラッチ優勝 (1980 年)

Q3 監督として出場した全国大会の思い出を聞かせてください。

うちのチームは特に団体種目に力を入れてトレーニングをしているので、平成 23 年に秋田県で開催された北東北総体のチームスプリントで優勝できたことは最高にうれしい記憶として残っています。激戦を制した選手達のとびっきりの笑顔と、驚異的な大会新記録の誕生を報じる実況アナウンサーの絶叫が忘れられません。

中国大会 20 連覇達成！ 県総体 20 連覇達成！



Q4 座右の銘を教えてください。

世界一になるには世界一の努力が必要である。(日本一になるには日本一の努力が必要である)

Q5 岡工自転車競技部の目標について聞かせてください。

インターハイ学校対抗総合優勝です。これまで都道府県対抗や全国高校選抜大会では総合優勝を果たしていますが、インターハイの総合では2位が最高成績です。

Q6 中学生に向けてメッセージをお願いします。

自転車競技は自転車に乗ってタイムや着順を競い合うスポーツです。競技場でおこなうトラック競技と一般道やサーキットでおこなうロード競技があり、ヨーロッパではサッカーと並んで人気のあるスポーツとなっています。スピードとカッコ良さと駆け引きの面白さが魅力だと思います。

また自転車競技は中学校には無い部活です。みんな同じスタート台から始めるので、経験によるハンディーがありません。何か新たなスポーツを始めたいと思っている人は選択肢の1つに入れてください。全国チャンピオンになった選手もアジアチャンピオンになった選手も、全員高校に入学してから競技を始めました。また、これといった勧誘や引き抜きをおこなうわけでもなく、興味を持って入部してくれた選手を大切に育て上げて、これまでの実績を築き上げてきました。岡工自転車競技部には選手を育成するための環境があります。また、卒業生は有名大学への進学や一流企業への就職など、その頑張りが認められて立派に社会に巣立っています。

競技用自転車は大変高価です。岡工自転車競技部では、試合用の自転車から練習用の自転車まで準備して入部しやすい環境を整えています。また最新の室内トレーニングマシンを完備していることに加え、工業高校ならではの取り組みとして、課題研究という授業の中で自分たちのアイデアを織り込んで製作した自転車競技専用の筋トレマシンなども活用しながらトレーニングしています。

来たれ！

OKAKO 自転車競技部！